シラバス(授業内容)

インナービューティ科　2年

ブライダルビューティ専攻

学校法人　中村学園
アイエステティック専門学校

シラバス（授業内容）

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	P2E	
1年単位	前期	15 時間	後期	30 時間	1年合計単位	45 時間
2年単位	前期	15 時間	後期	－	2年合計単位	15 時間
担当講師	田中 みゆき					
	実務経験	－	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行う。			
目的及び概要	現代社会においてはパソコンが使えるだけでなくパソコンを活用できる能力が必要とされています。 1年次で学んだ基礎技能の復習を行いながら、Word、Excel、PowerPointの応用的な機能を学習します。					
到達目標	図及び図形を活用した文書を作成することができる。 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける。 プレゼン資料を作成できる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	Office2016(実教出版)					

＜授業計画＞		前 期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1	お礼状の作成	Word お礼状の作成
第2回	2	画像の編集と加工	Word Officeのフォトレタッチ機能
第3回	3	図の挿入と図形の活用	Word 図の挿入と図形の活用
第4回	4	PowerPoint復習	PowerPoint復習
第5回	5	ノートの活用と印刷	PowerPoint ノートの活用と印刷
第6回	6	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成
第7回	7	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成
第8回	8	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成
第9回	9	作表とワークシートの操作	Excel オートフィルの復習、ワークシートの操作
第10回	10	予約表の作成	Excel 予約表の作成
第11回	11	グラフ機能	Excel グラフ機能
第12回	12	データベース機能	Excel データベース機能
第13回	13	試験対策	Excel 試験対策
第14回	14	期末試験	Excel 期末試験
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説と前期の振返り

初回持ち物	教科書、クリアファイル、筆記用具

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	フレッシャーズスキル			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	宮﨑 愛子					
	実務経験	有	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。 社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。前期では「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標	・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	オリエンテーション	授業の目的と狙い・講師紹介と学生自己紹介
第2回	2	働くことの意味について考える	学ぶこと・働くことの意義や役割を考えよう
第3回	3	ストレスコントロール術	そもそもストレスとは？脳とストレスの関係
第4回	4		ストレスの受け取り方・受け流し方を知ろう
第5回	5	アンガーマネジメント	「怒り」の感情の正体とは
第6回	6		怒り感情のコントロール方法（自己理解）
第7回	7		怒り感情との向き合い方・対処法（他者理解）
第8回	8		クレーム対応／クレームの考え方
第9回	9	Highly Sensitive Personについて	Highly Sensitive Personについて(HSP・HSS診断テスト)
第10回	10		HSS・HSPとの付き合い方、接し方
第11回	11	キャリアデザイン	未来の自分を想像する／中長期的な目標設定
第12回	12		PREP法で伝えよう
第13回	13		個々の発表
第14回	14	試験	期末試験
第15回	15	試験解説・まとめ	期末試験解説

初回持ち物	なし

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	フレッシャーズスキル			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	宮﨑　愛子					
	実務経験	有	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。 社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。前期では「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標	・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	後　期					

回数	コマ数		授業内容詳細
第1回	1	できるビジネスパーソン	マナーを身につけ、今から実践する意味を考えよう
第2回	2		上品さとは？好感を持たれる”見た目・ふるまい・話し方”①
第3回	3		上品さとは？好感を持たれる”見た目・ふるまい・話し方”②
第4回	4	傾聴力／雑談力	新社会人に必要なのは傾聴力「聴く力の重要性」
第5回	5		雑談力を鍛えよう「人間関係がよくなる雑談の心構え」
第6回	6		傾聴力と雑談力を伸ばそう
第7回	7	アサーティブコミュニケーション	アサーティブの基本／自己表現タイプと心理的ポジション
第8回	8		アサーティブに表現する
第9回	9	新入社員の自己紹介	第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」①
第10回	10		第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」②
第11回	11		相手の心に届く自己紹介を考えよう
第12回	12		新社会人になった気持ちで自己紹介をしてみよう
第13回	13	2年間の総まとめ	大切な人に”ありがとう”を伝える
第14回	14	試験（対面）	後期 期末試験
第15回	15	試験解説・まとめ（対面）	試験解説・まとめ
初回持ち物	なし		

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	就職ガイド			クラス名	P2E	
1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位	前期	15 時間	後期	－	2年合計単位	15 時間
担当講師	安藤　恵					
	実務経験	―	人事教育担当として、企業の採用や学校等で就職活動についてセミナーを担当。新入社員研修の経験を活かして学生指導やサポートを行う。			
目的及び概要	就職活動で必要な知識の習得を行い実践で活かせるようにサポートします。 また、社会人で必要な年間行事マナーを理解し、「働く」ことについて将来の キャリアデザインを考え、卒業後に備えます。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	なし					

＜授業計画＞		前　期	
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	面接練習	就職活動進捗確認・面接練習
第2回	2		面接練習
第3回	3		面接練習
第4回	4	一般常識	SPI・GAB対策
第5回	5		適性検査・一般常識対策
第6回	6	ディスカッション	グループディスカッション対策
第7回	7		グループディスカッション練習
第8回	8	社会人とは	新社会人に求められるもの
第9回	9	ビジネスマナー	ビジネスマナーがなぜ必要か
第10回	10	コミュニケーション	コミュニケーションの種類～ノンバーバル～
第11回	11		コミュニケーションの種類～バーバル～
第12回	12	サービス接遇	サービスマナー・慣用句
第13回	13	働くことの意義	○○○で働くことの意義
第14回	14	期末テスト	期末テスト
第15回	15	モチベーションコントロール	モチベーションアップから得られるもの

初回持ち物	筆記用具・就職ファイル

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	イベントプロモーション			クラス名	P2E	
1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	担任					
	実務経験	－	－			
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					

＜授業計画＞		前 期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1－3 4/12（水）	各目標決め	クラス目標／個人目標／リーダー・サブ決め／SAM選出
第2回		コミュニケーションスキル①	自分・みんなの印象
第3回		コミュニケーションスキル②	マシュマロチャレンジ
第4回	4－8 9/8（金）	スポーツ大会	出場競技決め ルール説明・確認
第5回			
第6回		学園祭① （1・2年生合同）	学園祭：出店概要、希望使用教室について 各担当、内容決め 貸出備品リスト作成／購入予定リスト作成 アンケート
第7回			
第8回			
第9回	9－11 9/11（月）	学園祭②	学園祭準備 接客マニュアル（流れ）、技術マニュアル、メニュー 作成物（看板、ビビットビューアー、チラシ、予約表、予約カード等）
第10回			
第11回			
第12回	12－15	スポーツ大会	スポーツ大会本番
第13回			
第14回			
第15回			
初回持ち物	筆記用具、AIEノート		

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲		○	実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	イベントプロモーション			クラス名	P2E	
1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	担任					
	実務経験	－	－			
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	後 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－3 11/1(水)	学園祭準備	設営、リハーサル
第2回			
第3回			
第4回	4－6 11/2(木)	学園祭①	学園祭当日
第5回			
第6回			
第7回	7－9 11/3(金)	学園祭②	学園祭当日
第8回			
第9回			
第10回	10－12 2/27(火)	FUS準備	FUSリハーサル
第11回			
第12回			
第13回	13－15 2/28(水)	FUS	FUS本番
第14回			
第15回			
初回持ち物	筆記用具、AIEノート		

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲		○	実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	皮膚科学			クラス名	P2E	
1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位	前期	15 時間	後期	－	2年合計単位	15 時間
担当講師	吉田　里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	1年でやった内容に加え、トラブル肌に関しての知識を高め、AEAに出る範囲の問題も習得すること					
到達目標	お客様へ説明できるような肌への知識を深め、検定の問題も合格点を目指す					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	トラブル肌とは何か	Chapter5の導入・トラブル肌とは
第2回	2	発疹の種類	湿疹・発疹の種類
第3回	3	ニキビ	ニキビの正式名称と状態
第4回	4	敏感肌	敏感肌の理由と対策
第5回	5	接触皮膚炎	皮膚炎について
第6回	6	アレルギー性疾患	アレルギーの種類と対策
第7回	7	その他の皮膚疾患	感染性・非感染性疾患について
第8回	8	まとめ	小問題
第9回	9	センター試験問題集	1～74番の問題復習
第10回	10	センター試験問題集	1～74番の問題復習
第11回	11	センター試験問題集	1～74番の問題復習
第12回	12	センター試験問題集	1～74番の問題復習
第13回	13	テストの話	テスト対策
第14回	14	期末テスト	期末テスト
第15回	15	返却	解説と後期の説明

初回持ち物	皮膚科学の教科書とノート

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	生理学			クラス名	P2E	
1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位	前期	15 時間	後期	－	2年合計単位	15 時間
担当講師	佐々木 圭					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	各臓器を知り、体の中の仕組みを知ること					
到達目標	お客様に体の構造の説明をできるようになることと、AEA上級試験に合格する					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	解剖学					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	Chapter1	導入と人体の成り立ち
第2回	2	Chapter2	骨格系
第3回	3	Chapter3	筋系
第4回	4	Chapter4	消化器系
第5回	5	Chapter5	呼吸器系
第6回	6	Chapter6＆7	泌尿器系・内分泌
第7回	7	Chapter8＆9	生殖器・循環器
第8回	8	Chapter10	血液
第9回	9	Chapter11	感覚器
第10回	10	Chapter12	神経系
第11回	11	試験対策	AEA対策
第12回	12	試験対策	AEA対策
第13回	13	試験対策	AEA対策
第14回	14	テスト	期末試験
第15回	15	返却	まとめ

初回持ち物	解剖学の教科書とノートかルーズリーフ（栄養学の裏側から使用してもよい）

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	サロンマネジメント&法規			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	15 時間	後期	－	2年合計単位	15 時間
担当講師	吉田　里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	会社の経営と接客方針に対して学び、法律を理解すること					
到達目標	社会の常識と法律を学ぶことで、接客業で生かせるようにすることと、検定も合格すること					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	サロンマネジメント＆法規					
＜授業計画＞	前　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	サロンの経営とは	業界の役割
第2回	2	やりがいのある仕事とは	美容の業務・内容
第3回	3	サロン業務	クレーム対応とサービス業
第4回	4	能力評価	経営者と雇用される側
第5回	5	業界の成長	業界の発展・問題集
第6回	6	法律関連の話	関連法規とは何か
第7回	7	施術に関する法律	施術・化粧品・食品に関する法律
第8回	8	契約と民法	消費者基本法・契約法
第9回	9	特定商取引とは	特定商取引とは
第10回	10	分割払いとクレジット	分割について・支払方法・キャッシュレス
第11回	11	個人情報保護法	会社の守るべきもの＆個人のSNS運用
第12回	12	自主基準とは	国家資格でない法律の基準について
第13回	13	問題集	テスト対策
第14回	14	テスト	期末テスト
第15回	15	返却	解説とまとめ

初回持ち物	

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	電気機器学&美容脱毛学			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	15 時間	後期	－	2年合計単位	15 時間
担当講師	吉田　里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	電気に関して理解することで、美容機械に対する知識を深める。					
到達目標	機械の使用の原理を理解し、検定試験の問題を習得すること					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	電気学と脱毛学					
＜授業計画＞	前　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	電気学とは	電気機器学とは
第2回	2	エステティック機器	施術用機器
第3回	3	電気の原理	電気の基礎知識
第4回	4	身体と電気の関係	エステ利用の電気について
第5回	5	問題集	センター試験の問題
第6回	6	脱毛学について	脱毛の歴史
第7回	7	脱毛学概論	脱毛法の分類
第8回	8	毛髪概論	毛とホルモン
第9回	9	病気と脱毛	血液感染など
第10回	10	衛生管理	衛生管理・滅菌・消毒
第11回	11	カウンセリング	カウンセリングの盲点と要点
第12回	12	ワックス脱毛	施術方法の分類
第13回	13	問題集	センター試験の問題
第14回	14	テスト	期末テスト
第15回	15	返却	解説

初回持ち物	電気機器学の教科書

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	エステ資格取得対策			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	－	後期	15 時間	2年合計単位	15 時間
担当講師	石毛　彩花					
	実務経験	有	理論や実技で学んだ内容を振り返り、サロンで必要となる知識も含めながら、検定合格を目指す。			
目的及び概要	この授業の目的はセンター筆記試験「合格」を目的とした授業です。認定エステティシャンの資格を取得する事で自身が活躍できる幅を広げることができます。エステティシャンとして技術だけではなく基礎知識を持っていることも条件となります。 【進め方】定められた範囲の自習(20分)/15問程度のミニ模試(15分)/解説(15分)					
到達目標	AEA認定エステティシャンセンター筆記試験合格					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	エステティシャンセンター試験　筆記試験例題集					

＜授業計画＞		後　期	
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	勉強と小テスト	電気・機器学範囲全て
第2回	2		エステティックカウンセリング　ワックス脱毛　範囲全て
第3回	3		フェイシャル実技理論1問～30問
第4回	4		フェイシャル実技理論31問～62問
第5回	5	70問模試①	皮膚科学、衛生消毒、救急法
第6回	6	70問模試②	解剖生理学、運動生理学、関連法規、ワックス脱毛
第7回	7	70問模試③	概論、栄養学、電気・機器学、カウンセリング、ボディ実技理論
第8回	8	70音模試④	心身生理学、化粧品学、マネジメント、フェイシャル実技理論
第9回	9	全範囲100問模試①	**90点取れるまで帰れません！！模試** 上記の時間内で合格ができない場合 同日の放課後に追試を実施
第10回	10		
第11回	11	全範囲100問模試②	
第12回	12		
第13回	13	全範囲100問模試③	
第14回	14		
第15回	15	全範囲100問模試④	

初回持ち物	筆記用具、B5ノート、例題集、電気機器学教科書

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	エステティック実技理論			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	15 時間	1年合計単位	15 時間
2年単位	前期	15 時間	後期	－	2年合計単位	15 時間
担当講師	大内 博子					
	実務経験	有	実技で行うための基礎知識を習得させ、エステサロンでの経験をもとにボディのカウンセリング力を高めるよう指導する			
目的及び概要	技術を学ぶために必要な知識、禁忌事項、マナーを学んだ後、機器や使用化粧品の知識を深めます。お客様に安心して効果的な技術を提供するために、カウンセリングやホームケアアドバイスなど、実際のサロンでお客様に接した時に、対応できるスキルを学びます。					
到達目標	センター技術力確認試験ボディ合格に向けて、ボディ実技授業と連動し、肌に触れることやマッサージの6手技の基礎、お客様とのコミュニケーションをはかり接客することができるようになる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	ボディ実技理論教科書・実技ファイル					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	後期授業流れ	後期の流れについて・ボディオイルについて・禁忌理由
第2回	2	ボディトラブル	冷えについて
第3回	3		むくみについて
第4回	4		過脂肪について
第5回	5		セルライトについて
第6回	6		歪みについて・ボディオイルの選択説明について
第7回	7	コンサルテーションシート	コンサルシート記入の仕方
第8回	8	ヒアリング	ペア発表・ヒアリングの仕方・口頭試問について
第9回	9	コンサルテーションシート	コンサルシート記入練習・口頭試問シート記入
第10回	10		
第11回	11		
第12回	12	問題集	センターボディ実技問題
第13回	13		
第14回	14	期末試験	期末試験
第15回	15	答案返却	答案返却

初回持ち物	筆記用具、実技ファイル、ボディ実技理論の教科書

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	エステティック実技			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	60 時間	1年合計単位	60 時間
2年単位	前期	45 時間	後期	－	2年合計単位	45 時間
担当講師	大内 博子					
	実務経験	有	検定試験監督者が講師のため、検定試験合格に必要なスキルの指導を行いながら合格を目指す。			
目的及び概要	センター技術力確認試験ボディ実技試験合格を目標にした技術・知識・アドバイス・分析力の習得。 検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、専門知識力、アドバイス力、接客力の5項目の基礎が求められます。					
到達目標	日本エステティック試験センター技術力確認試験ボディ実技試験合格					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－3	1年前期の復習	1年次の復習（脚背面、脚表面）のマッサージ練習
第2回	4－6	背中マッサージ習得	背中マッサージデモスト→練習
第3回	7－9		背中マッサージ練習
第4回	10－12	腕マッサージ習得	腕マッサージデモスト→練習
第5回	13－15	ボディチェック、腹部マッサージの習得	ボディチェック復習→腹部マッサージデモスト→練習
第6回	16－18	コンサルシート、背面	ボディチェック復習→背面練習（脚背面、背中）・コンサルスタート
第7回	19－21	コンサルシート、表面	ボディチェック復習→表面練習（脚表面、腕、腹部）
第8回	22－24	背面流れの練習	コンサル、背面練習、口頭試問練習開始
第9回	25－27	表面流れの練習	コンサル、表面練習、口頭試問
第10回	28－30	全身の流れの習得 検定試験の流れの理解 技術強化	全身練習①
第11回	31－33		全身練習②
第12回	34－36	模擬試験、期末試験	模擬試験、期末試験（検定試験の流れで実施）
第13回	37－39	フィードバック	模擬試験・期末試験のフィードバック＆練習
第14回	40－42	検定本番	検定本番
第15回	43－45	WAX	WAX脱毛

初回持ち物	ホットタオル2本、その他、1年次のエステボディ実技授業と同様の持ち物

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ブライダルネイル			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	45 時間	後期	－	2年合計単位	45 時間
担当講師	益子　結花					
	実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。			
目的及び概要	美容全般にはネイルの知識が必要です。 ウェディングにはウェディングネイルの知識が必要です。その為、ジェル検定初級の知識を勉強していきます。 幅広い分野で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかり学び、必要なカウンセリング、チップ制作を 目指し爪と指先の知識をしっかり取得していきます。					
到達目標	ジェルネイル検定初級授業を行い検定取得を目指す。 パーティー・ウェディング用のチップ制作が出来るようになる。					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－3	初級要項確認	初級要項確認
第2回	4－6	初級編	ジェルについて、筆記問題解説
第3回	7－9	初級試験対策 実技 ジェルの塗り方	ピーコック
第4回	10－12		ピーコック・オフ
第5回	13－15		通し練習
第6回	16－18	初級試験対策 試験要項実技練習	60分タイムトライアル練習 プレパレーション～ポリッシュ塗布～ ジェル塗布～ピーコック
第7回	19－21		
第8回	22－24		
第9回	25－27		
第10回	28－30		
第11回	31－33		
第12回	34－36	期末試験	期末試験
第13回	37－39	検定試験	検定試験
第14回	40－42	D（トレンド）	商材購入・チップ制作
第15回	43－45	D（トレンド）	チップ制作

初回持ち物	ネイルノート・3級道具(アート以外)・キッチンペーパー(1ロール)・ジップロックSサイズ1枚（カットペーパー保存用）初級道具(1年後期配布済みの道具)・筆記用具・はさみ・サインペン(細い)・名前シール

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	メイク&ヘアアレンジメント			クラス名	P2E	
1年単位	前期	30 時間	後期	60 時間	1年合計単位	90 時間
2年単位	前期	60 時間	後期	45 時間	2年合計単位	105 時間
担当講師	浅岡 久美・吉永 由					
	実務経験	有	ヘアメイクアップアーティストの立場から、ブライダルや撮影の経験をふまえヘアアレンジとメイクアップを指導する。			
目的及び概要	1年時習得した基礎となるヘアアレンジやメイクアップの技術力を向上させ、ウェディングの場面で必要となるテクニックや知識を学びます。 ウェディングプロジェクトと連動し花嫁の希望に沿った髪型とメイクの提案ができることを目標としています。半期ごとに実施するウェディングプロジェクトで技術のスキル向上を目指します。					
到達目標	お客様の要望にお応えできるヘアメイクの提案と、技術を身に付けることを目標とします。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－4	ヘアアレンジ	ホットカーラーの使い方、シニヨン
第2回	5－8	ブライダルイメージヘアメイク1	キュート、フレッシュ、エレガント、クラシック
第3回	9－12	ブライダルイメージヘアメイク2	〃
第4回	13－16	和装ブライダル	かつら下、白塗り
第5回	17－20	年代別メイク	1920～1980年代のメイクの変遷
第6回	21－24	夜会1	夜会巻の作り方
第7回	25－28	夜会2	〃
第8回	29－32	ショーメイク	ショーメイクの仕方
第9回	33－36	年代別メイク2	古代、近代のメイク
第10回	37－40	テーマ別ヘアメイク	テーマを決めてヘアメイク
第11回	41－44	和装ヘアメイク	浴衣のヘアメイク
第12回	45－48	期末テスト練習1	夜会復習
第13回	49－52	期末テスト練習2	夜会タイムトライアル
第14回	53－56	期末テスト	夜会
第15回	57－60	ユニークウエディング	シチュエーションからヘアメイクを考える
初回持ち物	ウィッグ、コーム、クッションブラシ、セットブラシ、ダッカール4本、白タオル2本、ノート、シラバス		

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	メイク&ヘアアレンジメント			クラス名	P2E	
1年単位	前期	30 時間	後期	60 時間	1年合計単位	90 時間
2年単位	前期	60 時間	後期	45 時間	2年合計単位	105 時間
担当講師	浅岡　久美					
	実務経験	有	ヘアメイクアップアーティストの立場から、ブライダルや撮影の経験をふまえヘアアレンジとメイクアップを指導する。			
目的及び概要	1年時習得した基礎となるヘアアレンジやメイクアップの技術力を向上させ、ウェディングの場面で必要となるテクニックや知識を学びます。 ウェディングプロジェクトと連動し花嫁の希望に沿った髪型とメイクの提案ができることを目標としています。半期ごとに実施するウェディングプロジェクトで技術のスキル向上を目指します。					
到達目標	お客様の要望にお応えできるヘアメイクの提案と、技術を身に付けることを目標とします。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	後　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－3	ヘアの復習	コテの使い方（基本）
第2回	4－6	メイクの復習	ベースメイク（ブラシ）、アイメイク（添えての仕方）
第3回	7－9	ブライダルイメージメイク	キュート、フレッシュ、エレガント、クラシック
第4回	10－12	ブライダルヘアアレンジ	ヘアアクセサリー、ベールのつけ方
第5回	13－15	ブライダルヘアメイク	ウエディングドレスのイメージで
第6回	16－18	ショーヘアメイク	ブライダルショーのヘアメイク
第7回	19－21	年代別メイク1	1920～1980年代のヘアメイク
第8回	22－24	年代別メイク2	1920～1980年代のヘアメイクを現代のBr.にアレンジ
第9回	25－27	和装ブライダル	かつら下、白塗り
第10回	28－30	夜会巻1	基本のアップスタイル
第11回	31－33	夜会巻2	〃
第12回	34－36	テーマ別ヘアメイク	テーマに合わせたヘアメイク
第13回	37－39	リアルウエディングにむけて	リアルウエディングとヘアメイク
第14回	40－42	夜会巻3	期末テスト練習
第15回	43－45	期末テスト	夜会巻

初回持ち物	ヘア道具一式（ウィッグ、ダッカール4本、コーム、ブラシ2本、白タオル3本、ノート（1年生の時に使用したもの）

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ブライダル概論			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	30 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位	前期	15 時間	後期	－	2年合計単位	15 時間
担当講師	片山 彩					
	実務経験	有	ゲストハウスやホテルでの勤務の中でサービスやマーケティングなど、婚礼を主にウエディングプランナーの業務に携わる。その経験からウエディングに必要な基礎知識の指導が出来る。			
目的及び概要	ウエディングにとって、ご成約いただいたお客様と信頼関係を築きながら当日までのお打ち合わせを進めることは、責任を伴う重要な業務の一つです。 成約～当日まで、スケジュールに基づいて、商品ひとつひとつの知識と打ち合わせの進め方、手配方法を取得していきます。					
到達目標	成約～当日～アフターフォローまでの一連の流れを理解する。 打ち合わせスケジュールに基づいて商品知識を身に着け、打ち合わせの進め方、手配方法を理解する。結婚式に伴う費用の流れを理解する。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード（日本ブライダル文化振興協会）					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	披露宴	披露宴の流れと意味を理解する
第2回	2	空間コーディネート	空間デザインについて
第3回	3	衣装選定	ドレスコードと小物について
第4回	4	ブーケ、フラワーアイテム	欧米のブライダルの歴史の検証
第5回	5	会場・テーブルコーディネート	欧米のブライダルの歴史の検証
第6回	6	ペーパーアイテムウエルカムアイテム①	ブライダルビジネスの現状
第7回	7	ペーパーアイテム ウエルカムアイテム②	結婚式場の現状
第8回	8	料理・飲物ウエディングケーキ	関連する企業の種類
第9回	9	披露宴の演出	音楽・照明、演出プラン
第10回	10	演出・記録・記念アイテム引出物・引菓	地方色豊かな結婚式
第11回	11	当日業務①	挙式・披露宴進行表
第12回	12	当日業務②	当日のアテンド（介添え）トラブルについて
第13回	13	当日業務③	テーブルセッティング・サービス業務
第14回	14	期末テスト	期末テスト
第15回	15	振り返り	振り返り

初回持ち物	筆記用具、ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード ノート（又はルーズリーフ）・A4クリアブックファイル

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ウエディングプロジェクト			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	45 時間	後期	45 時間	2年合計単位	90 時間
担当講師	JWSA専任講師（遠藤　智緒里・内垣　和・片山　彩）					
	実務経験	有	テキストを構成・編集した講師陣。数々のブライダルの現場で、ウェディングフォトグラファーとして活躍中。前撮りから結婚式本番の挙式・披露宴のスタジオ写真からスナップ写真、ロケーションフォトと、お客様のニーズに応えたウェディングフォトを提案している。一方空間は、ゼクシィ撮影の会場コーディネートから、ブライダル会場では無い場所を婚礼会場に変身させるなど、コンセプトウェディングを業としている。			
目的及び概要	新郎新婦へ心のこもったカウンセリングを行い、真の気持ち引き出し、正しい情報を元にプランニングを施す。計画された業務において、自身の役割を理解し、行動する。リアルを通して、ブライダルに携わる醍醐味と、仕事に対する責任感と達成感を体験、体感する。					
到達目標	フォトウェディングを、新郎新婦が満足いく形で成功させる					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	WEDDING　PHOTO／WEDDING　SPACE					

＜授業計画＞		前　期	
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－3	フォトウェディングとその業務 チーム分け	フォトウェディングの業務とその流れを理解し、当日をイメージする。施行チームを決定し、仕事内容を理解する
第2回	4－6	初回打合せのロールプレイング	ヒアリングシート、顧客情報シートを作成し、初回打合せロールプレイング
第3回	7－9	初回打合せ	新郎新婦にヒアリング／当日までのケジュール説明／カウンセリングを実
第4回	10－12	2回目打合せの準備	初回打合せの情報を元に、プランニングシートを作成する
第5回	13－15	2回目打合せの準備	2回目打合せのロールプレイング
第6回	16－18	2回目打合せ（決定）	新郎新婦へプランニングシートを元に、プレゼンテーション（提案）し、クロージング（決定）する。その後衣装選択
第7回	19－21	リハーサルヘアメイク・最終フィッティ	リハーサルヘアメイク、最終フィッティングを実践する
第8回	22－24	施行準備	担当ごとに製作、準備をする
第9回	25－27	施行準備	担当ごとに製作、準備、最終チェック
第10回	28－30	通しリハーサル	お迎えからお引上げまでの立ち位置、動き、所作の確認
第11回	31－33	最終確認	担当ごとに最終チェックを行い、清掃する
第12回	34－36	新郎新婦お仕度	新郎新婦のヘアメイクと着付け
第13回	37－39	フォトウェディング	フォトウェディング本番
第14回	40－42	写真のセレクト	撮影した写真のセレクト
第15回	43－45	アルバム制作	セレクトした写真でアルバムを制作する

初回持ち物	テキスト③WEDDING　PHOTO／④WEDDING　SPACE

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ウエディングプロジェクト			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	45 時間	後期	45 時間	2年合計単位	90 時間
担当講師	JWSA専任講師（遠藤　智緒里・内垣　和・片山　彩）					
	実務経験	有	テキストを構成・編集した講師陣。数々のブライダルの現場で、ウェディングフォトグラファーとして活躍中。前撮りから結婚式本番の挙式・披露宴のスタジオ写真からスナップ写真、ロケーションフォトと、お客様のニーズに応えたウェディングフォトを提案している。一方空間は、ゼクシィ撮影の会場コーディネートから、ブライダル会場では無い場所を婚礼会場に変身させるなど、コンセプトウェディングを業としている。			
目的及び概要	新郎新婦へ心のこもったカウンセリングを行い、真の気持ち引き出し、正しい情報を元にプランニングを施す。計画された業務において、自身の役割を理解し、行動する。リアルを通して、ブライダルに携わる醍醐味と、仕事に対する責任感と達成感を体験、体感する。					
到達目標	フォトウェディングを、新郎新婦が満足いく形で成功させる					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	WEDDING　PHOTO／WEDDING　SPACE					
＜授業計画＞	後　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1－3	フォトウェディングとその業務 チーム分け	フォトウェディングの業務とその流れを理解し、当日をイメージする。施行チームを決定し、仕事内容を理解する
第2回	4－6	初回打合せのロールプレイング	ヒアリングシート、顧客情報シートを作成し、初回打合せロールプレイング
第3回	7－9	初回打合せ	新郎新婦にヒアリング／当日までのケジュール説明／カウンセリングを実践する
第4回	10－12	2回目打合せの準備	初回打合せの情報を元に、プランニングシートを作成する
第5回	13－15	2回目打合せの準備	2回目打合せのロールプレイング
第6回	16－18	2回目打合せ（決定）	新郎新婦へプランニングシートを元に、プレゼンテーション（提案）し、クロージング（決定）する。その後衣装選択
第7回	19－21	リハーサルヘアメイク・最終フィッティング	リハーサルヘアメイク、最終フィッティングを実践する
第8回	22－24	施行準備	担当ごとに製作、準備をする
第9回	25－27	施行準備	担当ごとに製作、準備、最終チェック
第10回	28－30	通しリハーサル	お迎えからお引上げまでの立ち位置、動き、所作の確認
第11回	31－33	最終確認	担当ごとに最終チェックを行い、清掃する
第12回	34－36	新郎新婦お仕度	新郎新婦のヘアメイクと着付け
第13回	37－39	フォトウェディング	フォトウェディング本番
第14回	40－42	写真のセレクト	撮影した写真のセレクト
第15回	43－45	アルバム制作	セレクトした写真でアルバムを制作する

初回持ち物	テキスト③WEDDING　PHOTO／④WEDDING　SPACE

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲		○	実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ドレススタイリング			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	45 時間	1年合計単位	45 時間
2年単位	前期	30 時間	後期	30 時間	2年合計単位	60 時間
担当講師	矢澤 雅子					
	実務経験	有	欧米と日本を長年往復し、日本国内にイまだ少なかったンポートドレスの文化を普及し定着させる。その後大手ドレスショップにて統括ディレクターやバイヤーを務める。現在はブライダル企業やホテルウエディングのコンサルティング、ドレスショップの教育やブランディングなど幅広く従事する。			
目的及び概要	人生の節目であり、女性にとって最も大きいセレモニーである「結婚式」についての基礎を幅広く学びます。結婚式とは？から始まり、色々な結婚式のスタイルや、衣裳の歴史やデザインの種類、小物の意味などをエピソードを交え学んでいきます。また、日本の結婚式と欧米の結婚式の違いやブライダル業界の仕組みと成り立ちなども学び、ブライダルにかかわる様々な仕事についても理解を深めます。ブライダル業界の奥深さと「価値」を創っていく仕事の面白さを感じてもらいます。					
到達目標	″結婚式とは何か、どんな結婚式のスタイルがあるのか理解する。 ブライダル業界にまつわる仕事はどんな職種があるのか理解する。 様々なブライダル衣裳の種類を把握し、スタイリングの面白さを体験する。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	前 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1・2	ドレスデザイン・素材基礎振返り	1年後期でやってきたドレスデザイン・素材の用語や表現方法を振返り
第2回	3・4	メンズタキシード（新郎衣裳）	種類や時間帯ルールや着こなし、フィッティングの方法などについて
第3回	5・6	接客① カウンセリング	カウンセリング中級実技、花嫁（お客様）の要望を深堀するカウンセリングについて
第4回	7・8	接客② ドレス提案	ドレス提案中級実技、花嫁の気持ちを高揚させ「ぜひ着てみたい」と思わせるドレス提案について
第5回	9・10	接客③-1 ドレスフィッティング	ドレスフィッティング中級実技、美しくドレスを着せる方法、インナーのつけ方 花嫁を美しく見せるためのフィッティング時の立ち居振舞いについて
第6回	11・12	接客③-2 ドレスフィッティング	ドレスフィッティング時のトーク中級実技、花嫁が「このドレスに決めたい！」と思ってもらえるトークについて
第7回	13・14	接客④ クロージング	クロージング中級実技、成約をもらうための大切なポイントや花嫁（お客様）との信頼関係を作るためのポイントや様々な対応方法について
第8回	15・16	接客⑤ フォローアップ	お客様にご成約をいただくために再来店を促すためのフォローアップについて考えるまた、考えたことを実際実践してみる
第9回	17・28	小物合わせ・最終フィッティング	成約後結婚式までに必要な小物合わせや最終フィッティングについて 採寸の仕方などを実技で学ぶ
第10回	29・20	結婚式＆フォトウエディング当日の花嫁を美しく見せるとは	当日の新郎新婦を美しく見せるためのポイントや所作などについて フォトウエディングでのドレスの直し方や綺麗に見せるために気をつける事など
第11回	21・22	アテンドについて	結婚式やフォトウエディングにおいてアテンド実技基礎編
第12回	23・24	アテンド実技	結婚式やフォトウエディングにおいてアテンド実技応用編
第13回	25・26	トータルワーク 作成&まとめ(1週目）	前期で学んだ事を全て踏まえて、新郎新婦への1日のコーディネイト（スタイル）提案を作成、「価値を伝える」プレゼンテーションを行うための考案作業
第14回	27・28	トータルワーク 作成&まとめ(2週目）	前期で学んだ事を全て踏まえて、新郎新婦への1日のコーディネイト（スタイル）提案を作成、「価値を伝える」プレゼンテーションを行うための考案作業
第15回	29・30	トータルワーク プレゼンテーション	2週に渡って準備考案してきたものを前期の集大成としてプレゼンテーションする（これをテストとする）

初回持ち物	筆記用具（ワークの際はハサミとのりも持参） 白手袋

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ドレススタイリング			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	45 時間	1年合計単位	45 時間
2年単位	前期	30 時間	後期	30 時間	2年合計単位	60 時間
担当講師	矢澤 雅子					
	実務経験	有	欧米と日本を長年往復し、日本国内にイまだ少なかったンポートドレスの文化を普及し定着させる。その後大手ドレスショップにて統括ディレクターやバイヤーを務める。現在はブライダル企業やホテルウエディングのコンサルティング、ドレスショップの教育やブランディングなど幅広く従事する。			
目的及び概要	人生の節目であり、女性にとって最も大きいセレモニーである「結婚式」についての基礎を幅広く学びます。結婚式とは？から始まり、色々な結婚式のスタイルや、衣裳の歴史やデザインの種類、小物の意味などをエピソードを交え学んでいきます。また、日本の結婚式と欧米の結婚式の違いやブライダル業界の仕組みと成り立ちなども学び、ブライダルにかかわる様々な仕事についても理解を深めます。ブライダル業界の奥深さと「価値」を創っていく仕事の面白さを感じてもらいます。					
到達目標	″結婚式とは何か、どんな結婚式のスタイルがあるのか理解する。 ブライダル業界にまつわる仕事はどんな職種があるのか理解する。 様々なブライダル衣裳の種類を把握し、スタイリングの面白さを体験する。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
＜授業計画＞	後 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1・2	前期振返り－Ⅰ	ウエディングドレス（ホワイトドレス）についての振返り&プレゼンテーション
第2回	3・4	前期振返り－Ⅱ	カラードレス・タキシードについての振返り&プレゼンテーション
第3回	5・6	接客の流れ－上級編 カウンセリング～ドレス提案	カウンセリングからドレス提案までの流れをより具体的なシチュエーションで実技
第4回	7・8	接客の流れ－上級編 フィッティング	前週の流れをもとに、フィッティング実技（接客をしながらのフィッティング）
第5回	9・10	接客の流れ－上級編 クロージング	前週の流れをもとに、クロージング実技
第6回	11・12	リアルウエディングに向けて－Ⅰ	お客様のニーズに応えるMAP作成
第7回	13・14	リアルウエディングに向けて－Ⅱ	前週で作成したMAPをお客様へ提案するプレゼンテーション
第8回	15・16	リアルウエディングに向けて－Ⅲ	MAPをもとにドレス提案を行うプレゼンテーション
第9回	17・28	リアルウエディングに向けて－Ⅳ	前週で行ったプレゼンテーションをもとにフィッティング実技（提案要素を含みなが
第10回	29・20	リアルウエディングに向けて－Ⅴ	前週で行ったフィッティング内容をもとに最終小物合わせ（クロージング）
第11回	21・22	リアルウエディングに向けて－Ⅵ	ドレススタイリストとして結婚式準備に必要な流れの確認と実技
第12回	23・24	オリジナルブランド作成－Ⅰ 企画立案	企画立案を学ぶという観点でコンセプト・ターゲット・展開方法などを設定し、 オリジナルブランド（ドレスデザイン）を考案しMAPを作成する（次週へも続く）
第13回	25・26	オリジナルブランド作成－Ⅱ 企画立案	企画立案を学ぶという観点でコンセプト・ターゲット・展開方法などを設定し、 オリジナルブランド（ドレスデザイン）を考案しMAPを作成する（前週の続き）
第14回	27・28	オリジナルブランド発表－Ⅰ プレゼンテーション	作成したMAP（提案企画書）をもとに本格的なプレゼンテーションを行う 学んだ集大成として知識や技術を盛り込んでを発表（次週へも続く）
第15回	29・30	オリジナルブランド発表－Ⅱ プレゼンテーション	作成したMAP（提案企画書）をもとに本格的なプレゼンテーションを行う 学んだ集大成として知識や技術を盛り込んでを発表&総評

初回持ち物	筆記用具（ワークの際はハサミとのりも持参） 白手袋

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ブライダルセールス			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	片山　彩					
	実務経験	有	ゲストハウスやホテルでの勤務の中でウエディングプランナーの業務経験から、新規接客～施行のプランニングまでのウエディングに必要とされる営業力の指導が出来る。			
目的及び概要	期限のある仕事をスケジュール通りに進めるためのノウハウを学ぶ授業です。同時に新郎新婦に対するカウンセリングの技術向上を目指します。後期に行うリアルウエディングや実際の現場での接客で、より完成度を高めるためにお客様からの要望を引き出す力を身につけることを目標としています。					
到達目標	ブライダル業界で働く人材としてのブライダルマーケットを通して業界を知り、観察とプレゼンテーションを身につけることを目指します。					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	ブライダルコーディネーターテキスト　スタンダード（日本ブライダル文化振興協会）					

＜授業計画＞		前　期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1	コーディネータの業務とは	コーディネーター業務において必要な基礎知識
第2回	2	ブライダルマーケティング①	ブライダル業界の課題・トレンド・求められる人物像
第3回	3	ブライダルマーケティング②	ブライダル業界の将来予測・業種別の特徴と課題
第4回	4	ブライダルマーケティング③	セールス(販促）＆広告（Web・雑誌・SNS）・PR（広報）
第5回	5	ブライダルマーケティング④	ブライダルフェアの目的・プランの打ち出し方
第6回	6	新規業務	成約までの新規業務について
第7回	7	セールスの特徴・ホスピタリティー	「商品の特徴」と「コミュニケーション」
第8回	8	プランニング	コンセプトから導き出したテーマとプレゼンテーション手法
第9回	9	成約業務　ペーパーワーク	新規のアフターフォローと申込手続き
第10回	10	打ち合わせ業務①	成約時から初回打ち合わせまで
第11回	11	打ち合わせ業務②	成約後の第1回打ち合わせ（初回打ち合わせ）
第12回	12	打ち合わせ業務③	成約後の第2回打ち合わせ（中間打ち合わせ）
第13回	13	打ち合わせ業務④	成約後の第3回打ち合わせ（最終打ち合わせ）～当日まで
第14回	14	期末テスト	【テーマウエディング】プレゼンテーション
第15回	15	振り返り	リアルウエディングに向けて

初回持ち物	ブライダルコーディネーターテキスト　スタンダード教科書　A4クリアブックファイル

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ブライダルセールス			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	片山　彩					
	実務経験	有	ゲストハウスやホテルでの勤務の中でウエディングプランナーの業務経験から、新規接客～施行のプランニングまでのウエディングに必要とされる営業力の指導が出来る。			
目的及び概要	期限のある仕事をスケジュール通りに進めるためのノウハウを学ぶ授業です。同時に新郎新婦に対するカウンセリングの技術向上を目指します。後期に行うリアルウエディングや実際の現場での接客で、より完成度を高めるためにお客様からの要望を引き出す力を身につけることを目標としています。					
到達目標	ブライダル業界で働く人材としてのブライダルマーケットを通して業界を知り、観察とプレゼンテーションを身につけることを目指します。					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	ブライダルコーディネーターテキスト　スタンダード（日本ブライダル文化振興協会）					

＜授業計画＞		後　期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1	プランニング	前期のプランニングの考え方復習
第2回	2	アンケート①	パーティーシーン・ヒアリングシートの作成
第3回	3	アンケート②	美容シーン・ヒアリングシートの作成
第4回	4	ヒアリング	パーティー：実際にヒアリングを行う・聞いたことのとりまとめ
第5回	5	ヒアリング	美容：実際にヒアリングを行う・聞いたことのとりまとめ
第6回	6	テーマウエディング	テーマの作成とコンセプトシートの作成
第7回	7	テーマウエディング	テーマに合わせたプランニングとビジュアルツールの作成①
第8回	8	営業力	サプライズプランニング①
第9回	9	会場コーディネート	テーマウエディングと会場コーディネート考え方
第10回	10	披露宴の演出プラン	ホスト型・ゲスト型・サービス型 ゲスト披露宴・パフォーマンス型
第11回	11	スケジュール	当日のタイムスケジュールの共有
第12回	12	当日業務	リアルウエディングに向けて
第13回	13	当日業務	結婚式・披露宴当日のコーディネーターの役割
第14回	14	当日業務	挙式・披露宴進行表
第15回	15	期末テスト	リアルウエディングの反省と成功体験

初回持ち物	筆記用具、ブライダルコーディネーターテキスト

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	カラーデコレート			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	－	後期	30 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	岡永めぐみ					
	実務経験		パーソナルカラーや色彩心理を使ったカウンセリング、色彩検定等、カラーに関する資格を複数保有し、ブライダルの分野では新郎新婦のパーソナルカラー診断や希望に応じたブーケや小物に至るものをデザイン、制作しトータルでカラーコーディネートを担当しているため、より実践的な指導をしていく。				
目的及び概要	ブライダルにおいて必要となるカラーの知識を講義だけでなく、ブーケや和装で使われる水引、会場装飾を実際に作ることで、実践的な知識を身につけていきます。お花や水引の様々な色の中からどの色を選ぶかという「配色」を重点的に学び、イメージに合った配色が出来ているかをそれぞれが作った作品を通してクラス全員で共有しながら、ウエディングブーケや水引の技術も習得していきます。					
到達目標	・なりたいイメージや体型、ドレスに合ったブーケを作る事が出来る ・ブライダルにおける水引の決まりを理解し、結び方をマスター出来ている ・色彩心理を理解し、その知識を生かしながらオーダー通りの作品を作ることが出来る					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書						
＜授業計画＞	後 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1・2	ブーケ概論	ドレスや体型、イメージにあうドレスとは／ブーケの種類を知る
第2回	3・4	ブーケ制作	それぞれの選んだブーケを作る／リボンワーク
第3回	5・6	ブーケ制作	ブーケのプレゼンテーション、シルクフラワーの修復方法やアレンジ方法を学ぶ
第4回	7・8	ブーケ制作	コサージュとブートニアの違いや説明・作成
第5回	9・10	色彩心理を理解する	各色の色彩心理を理解し、配色に生かせるように例示出来るようにする
第6回	11・12	配色	季節に応じた配色を考える
第7回	13・14	配色	自分のパーソナルカラーからベストなファッション・メイクをコラージュする
第8回	15・16	配色・水引	コラージュの発表・水引の決まりを理解する
第9回	17・28	水引	あわじ結び・梅結び
第10回	29・20	水引	色々な結び方の中から自分でやりたいものを選び習得する
第11回	21・22	個人制作/試験	作業/試験
第12回	23・24	個人制作	作業
第13回	25・26	個人制作	作業
第14回	27・28	個人制作	作業
第15回	29・30	個人制作　発表	発表と総括

初回持ち物	筆記用具、色彩活用パーソナルカラー検定3級の教科書・カラーカード・ハサミ・のり

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ブライダルエステ			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	－	後期	45 時間	2年合計単位	45 時間
担当講師	エステ担当講師					
	実務経験	有				
目的及び概要	センター試験内容である機器学を勉強しながらもウェディングプロジェクトと連動し1、2年で学んだ エステティックの技術と知識を披露する目的の授業です。ブライダル概論で深めた知識を実践で施します。 挙式までの期間に花嫁の悩みを技術を提供することで解決することを目標としています。					
到達目標	お客様に合わせたコース提案、リアルウエディングの成功、満足度を高める。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書						

＜授業計画＞		後 期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1－3	エステティックボディ応用	手技編【スリミングマッサージ・バイブレーション】
第2回	4－6		背中美肌【クレンジング・ゴマージュ・マッサージ・パック】
第3回	7－9		機器編【低周波・超音波】
第4回	10－12	エステティックフェイシャル応用	超音波編【クレンジング・超音波・マッサージ】
第5回	13－15		フェイシャル機器【ディープ・パター・ピールオフ】
第6回	16－18		フェイシャル機器【クレ・イオン・マッサージ・石膏パック】
第7回	19－21		デコルテエステ【クレ・ブラシ・マッサージ・パック・仕上げ】
第8回	22－24	ブライダルエステ 練習+本番	ブライダルエステ練習・リハ
第9回	25－27		**ブライダルエステ お客様施術①**
第10回	28－30		ブライダルエステ練習・リハ
第11回	31－33		**ブライダルエステ お客様施術②**
第12回	34－36		ブライダルエステ練習・リハ
第13回	37－39		**ブライダルエステ お客様施術③**
第14回	40－42	お楽しみ授業	カッピング・ホットストーン・ワックス脱毛
第15回	43－45		チョコレートパック

初回持ち物	ギャルソン、実技ファイル、筆記用具、メモ帳、ハンカチ、シーツ、ローブ、ビニール袋、タイマー、フェイスタオル6、HOT1

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ブライダルエステ概論			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	－	後期	15 時間	2年合計単位	15 時間
担当講師	エステ担当講師					
	実務経験	有				
目的及び概要	センター試験内容である機器学を勉強しながらもウェディングプロジェクトと連動し、1、2年で学んだエステティックの技術と知識を披露する目的の授業です。ブライダルエステで実践する技術・知識について勉強していきます。 挙式までの期間に花嫁の悩みを技術を提供することで解決することを目標としています。					
到達目標	リアルウエディングの成功・満足度を高める。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	場合によってプリント配布					
＜授業計画＞	後 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1	ボディ機器について	スリミングマッサージ・美肌ケア
第2回	2		ブライダルエステとは・バイブレーション
第3回	3		低周波・超音波
第4回	4	フェイシャル	フェイシャル機器・パック
第5回	5		ディープクレンジング
第6回	6	準備	使用化粧品について
第7回	7		コース組み立て
第8回	8	リアルウエディングエステ	ブライダルエステ準備・本番・振り返り 本番3回：11/12、12/6、1/24 ディスカッション マニュアル・レイアウト・POP作成
第9回	9		
第10回	10		
第11回	11		
第12回	12		
第13回	13		
第14回	14	期末テスト	期末テスト
第15回	15	フィードバック	リアルウエディング振り返り

初回持ち物	実技ファイル・筆記用具

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	3級ブライダルコーディネーター検定対策			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	－	後期	30 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	ブライダル担当講師					
	実務経験					
目的及び概要	1年時から学んできたブライダル業界の歴史や基礎知識をもとに結婚式の企画や衣装、ジュエリー、ヘアメイク、演出、料理・飲物に至るあらゆる知識の理解を確認する目的の授業です。3級ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ検定資格取得を目標としています。					
到達目標	3級ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ検定の全員合格を目指します。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	ブライダルコーディネーターテキスト(日本ブライダル文化振興協会)					

＜授業計画＞		後 期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1・2	テスト範囲復習 小テスト①	小テスト 力試しと解説
第2回	3・4	2007年度	過去テスト問題～検定の対策と範囲の予習①
第3回	5・6	2008年度	過去テスト問題～検定の対策と範囲の予習②
第4回	7・8	2009年度	過去テスト問題～検定の対策と範囲の予習③
第5回	9・10	2010年度	過去テスト問題～検定の対策と範囲の予習④
第6回	11・12	2011年度	過去テスト問題～検定の対策と範囲の予習⑤
第7回	13・14	2012年度	過去テスト問題～検定の対策と範囲の予習⑥
第8回	15・16	2013年度	過去テスト問題～検定の対策と範囲の予習⑦
第9回	17・28	2014年度	過去テスト問題～検定の対策と範囲の予習⑧
第10回	29・20	2015年度	本番を想定したテスト①
第11回	21・22	2018年度	本番を想定したテスト②
第12回	23・24	2019年度	本番を想定したテスト③
第13回	25・26	2020年度	本番を想定したテスト④
第14回	27・28	模擬テスト	2021年問題と解説
第15回	29・30	テスト	3級ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ検定本番（1/26外部受験）

初回持ち物	筆記用具、ブライダルコーディネーターテキスト、クリアブック(A4)

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲		○	実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	和装着付け			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	30 時間	1年合計単位	30 時間
2年単位	前期	45 時間	後期	－	2年合計単位	45 時間
担当講師	株式会社アンズガーデン 溝畠奈緒美					
	実務経験	有	和装の基礎知識や技術を習得するとともに、お客様への対応や着物の選び方も指導していく。			
目的及び概要	着物に関わる基礎知識や和装着付けに必要な技術を身に付ける為、ブライダルサロンやスタジオで必要となる訪問着や振袖の着付け、帯結びが出来るように進めていきます。和装に興味が広がるように指導します。					
到達目標	訪問着の他装（長襦袢～二重太鼓まで）30分で着付け					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	必要に応じてプリント配布					

＜授業計画＞		前 期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1－3	他装 訪問着の着付け①	長襦袢復習
第2回	4－6	他装 訪問着の着付け②	長襦袢～着物
第3回	7－9	他装 訪問着の着付け③	長襦袢～着物
第4回	10－12	他装 訪問着の着付け④	二重太鼓 帯結び
第5回	13－15	他装 訪問着の着付け⑤	二重太鼓 帯結び
第6回	16－18	他装 振袖の着付け①	長襦袢～着物
第7回	19－21	他装 振袖の着付け②	長襦袢～着物
第8回	22－24	他装 振袖の着付け③	帯結び2種
第9回	25－27	他装 振袖の着付け④	帯結び2種
第10回	28－30	他装 振袖の着付け⑤	帯結び2種
第11回	31－33	他装 振袖の着付け⑤	長襦袢～帯結び
第12回	34－36	訪問着のトータル着付け①	実技テストに向けての実習
第13回	37－39	訪問着のトータル着付け②	実技テストに向けての実習
第14回	40－42	テスト	長襦袢～二重太鼓 （30分）
第15回	43－45	テスト結果 復習	テスト見直し 婚礼衣装に触れる

初回持ち物	筆記用具 ネームペン 和装小物

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	ショー対策			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	－	後期	15 時間	2年合計単位	15 時間
担当講師	篠　あけみ					
	実務経験	有	パリ・コレクションを始め様々なコレクションへ出演。モデルスクールで後進の指導にあたるほか、一般企業向けのファッションショーのプロデュースや、一般人向けのセミナー等の活動も行っている。			
目的及び概要	すが、そもそもファッションショーはどうやって作られているのでしょうか？ 今まで学んだ内容を活かし、発想力を高めチーム力を身に付ける。					
到達目標	Show、に向け、知識,技術のクオリティをあげ、コミュニケーション力、提案力をつけ、臨機応変な動きができる					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書						
＜授業計画＞	後　期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回 第2回 第3回	1―3	ファッションの成り立ち	ファッション業界に関わる立場として覚えておくべき事 ブーケの持ち方／注意点
第4回 第5回 第6回	4―6	ショーの組み立て方	次回の撮影と最後の授業に行うショーの為のドレス選び ２点～４点（白物・色物）
第7回 第8回 第9回	7―9	ウェディングドレス撮影 （白物）	立ち・座りを１人2カット
第10回 第11回 第12回	10―12	エスコート	エスコート2種類 ウォーキング／ショーリハーサル トレーンがあるドレスのターンの仕方
第13回 第14回 第15回	13―15	ウェディングドレスショー本番	筆記試験 色物ドレス・白物ドレス 会場：8Fスペース
初回持ち物	ノート（A4一冊）　筆記用具		

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	パーソナルカラー検定			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	30 時間	後期	－	2年合計単位	30 時間
担当講師	黒川裕子					
	実務経験	有	色彩やパーソナルカラーを教える講師として、各種専門学校やセミナーなどで、楽しく実践的にを大切に数多くの講座を担当している。色彩検定では奨励賞を受賞するなど実績を積んでいる。			
目的及び概要	美容業界で注目されている「パーソナルカラー(似合う色)」について総合的に学びます。 自分の似合う色を通して、自分自身を客観的に捉え自分ブランディングをしていきます。 パーソナルカラーの探し方から活かし方、パーソナルカラーのもととなる色彩の基本を座学とカラーワーク演習などで身に着けていきます。検定対策として、適宜問題集や小テスト（解説あり）を実施し理解度の確認をしていきます。					
到達目標	色彩の基本、パーソナルカラーの技術を身につけ、美容業界で生かせるようになる。　色彩活用パーソナルカラー検定3級（2023年7月予定）取得を目指す。					
授業運営方法	演習形式　・　講義形式					
教科書	色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト3級、公式問題集					

＜授業計画＞		前　期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1・2	オリエンテーション 復習：色彩の基本	パーソナルカラーを学ぶ意義 パーソナルカラーとは何か。色の三属性・トーンなど
第2回	3・4	パーソナルカラーの色分類①	パーソナルカラーの色分類、各タイプの色の特徴について
第3回	5・6	パーソナルカラーの色分類②	パーソナルカラーの色分類、各タイプの色の特徴について
第4回	7・8	色名・色素とは	色名、色素について
第5回	9・10	色素と似合う色の関係①	色素の見方①
第6回	11・12	色素と似合う色の関係②	色素の見方②
第7回	13・14	色素と似合う色の関係③	色素の見方③・まとめ（自分の色素を知る）
第8回	15・16	似合う色と似合わない色	似合う色と似合わない色の見え方、色と光の関係
第9回	17・28	ドレーピング実習	ドレーピング実習
第10回	29・20	似合う色の見え方の理由	客観的な見え方について（対比・同化、面積効果）
第11回	21・22	似合う色の取入れ方	似合う色の取入れ方、ポイント
第12回	23・24	検定対策①	期末テスト、検定に向けて総まとめ①
第13回	25・26	検定対策②	期末テスト、検定に向けて総まとめ②
第14回	27・28	期末テスト	期末テスト
第15回	29・30	期末テスト返却・振り返り	返却・振り返り・検定対策

初回持ち物	色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト3級、公式問題集 新配色カード199b、新配色カード199用演習用台紙（通称：トーンマップ）、はさみ、のり、筆記用具、ノート類

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価　基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	資格取得授業アロマ検定			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	－	後期	30 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	安齋孝子					
	実務経験	有				
目的及び概要	必要な基礎理論と職場で役立つ知識、安全に活用できる実践的な方法を学びます。2023月実施の日本アロマコーディネーター協会認定の「アロマコーディネーター」試験に対応した授業です。 アロマコーディネーターとは花や草から生まれる香りのエッセンスの知識をもとに、自然の香りに親しみ、楽しみながらより豊かなライフスタイルを提案できる人のことを指します。					
到達目標	香りに対する理解を深めながらハンドクラフトのアイデアも養い、将来クライアントに適したアドバイスができる人材へ、最終的に認定試験合格を目指します。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	指定テキスト2冊及び適宜ハンドアウトを配布					

＜授業計画＞		後 期	
回数	**コマ数**	**テーマ**	**授業内容詳細**
第1回	1・2	精油の扱い方	オレンジ・グレープフルーツ・ベルガモット・レモン （芳香浴）
第2回	3・4	精油の抽出方法	ティーツリー・パチュリー・ユーカリグロブルス （バスソルト）
第3回	5・6	キャリアオイルの種類	サイプレス・ジュニパー キャリアオイルの種類 （トリートメントオイル）
第4回	7・8	ブレンドの計算	ブレンド方法 イランイラン・ジャスミン・ローズ（アロマローション）
第5回	9・10	脳と嗅覚のしくみ	小テスト・カモミールローマン・カモミールジャーマン （フェイスパック）
第6回	11・12	香りの歴史	小テスト・フランキンセンス・ベンゾイン・ミルラ （ハンガリーウォーター）
第7回	13・14	精油の安全性と危険性	小テスト・カルダモン・メリッサ・レモングラス （ボディソープ）
第8回	15・16	トリートメント・生理学	小テスト・ネロリ・ヤロウ （フェイス美容オイル）
第9回	17・28	香りの心理作用	クラリセージ・ゼラニウム・ラベンダー・マージョラム（ルームフレグランス）
第10回	29・20	精油と生理学	ブラックペッパー ボディ・フェイシャルトリートメント（ボディ用オイル）
第11回	21・22	法令	小テスト・ペパーミント・マージョラム・ローズマリー（ハンドクリーム）
第12回	23・24	精油の化学	サンダルウッド・シダーウッド 精油の成分を類ごとに知る（マウスウォシュ）
第13回	25・26	総復習	小論文
第14回	27・28	期末試験	授業内範囲から出題
第15回	29・30	期末試験返却	香水作成

初回持ち物	ノート（B5サイズ）※ルーズリーフNG 色鉛筆

成績評価方法		定期試験		
	・出席率		○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス（授業内容）

科目名	資格取得授業メイク検定			クラス名	P2E	
1年単位	前期	－	後期	－	1年合計単位	－
2年単位	前期	－	後期	30 時間	2年合計単位	30 時間
担当講師	メイク担当講師					
	実務経験	有	JMA学内認定講師。 メイクの知識も伝えながら検定合格に向けた授業を行います。			
目的及び概要	JMA（メイク検定）2級合格に向けた授業です。 技術だけでなくお客様に対しての気遣いも学びます。					
到達目標	JMA（メイク検定）2級合格					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	JMA2，3級テキスト					
＜授業計画＞	後 期					

回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細
第1回	1・2	検定対策1	セッティング～ベースメイク
第2回	3・4		
第3回	5・6		
第4回	7・8	検定対策2	トータル練習
第5回	9・10		
第6回	11・12		
第7回	13・14	検定対策3	トータル練習
第8回	15・16		
第9回	17・28		
第10回	29・20	検定対策4	トータル練習
第11回	21・22		
第12回	23・24		
第13回	25・26	検定対策5	トータル練習
第14回	27・28		
第15回	29・30		

初回持ち物	ビニール袋、セロテープ、ウェットティッシュ、ティッシュ（ポケットティッシュ不可）、コットン 綿棒、JMA2、3級テキスト、検定用メイク一式

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・授業参加意欲			実施しない（提出物）

成績評価 基準（右記合計点）		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	期末試験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場合				